

## 平成 29 年度島根県原子力講演会 参加者ご意見・ご感想

Q8. 本日の講演会の感想などをご自由にお聞かせください。

### 【益田会場】

- ・ 2 時間じっくり聞くことができ良かった
- ・ 原子力について、知らないことが知れて良かったです。また、機会があれば講演会などに参加したいと思います。ありがとうございました
- ・ 貴重なお話ありがとうございました
- ・ 益田市の住民の意識が低いのではないのでしょうか？もう少し多くの参加者があればと思いました。18,000 人の人が避難されて来られる事は、地域の住民にはあまり知られていないのではないのでしょうか？とても良い講演会でした。ありがとうございました
- ・ 人体の影響が知れて良かった
- ・ 原子力発電所を抱える島根県民にとって、原子力災害は他人ごととしてすませることができません。今年で 10 回目の講演会ということですが、さらに普及のための取り組みをすべきと考えます。11 月 19 日に開催される原子力防災訓練では、できる限り対応させていただきます。よろしくお願いします。
- ・ 講演、県防災計画を知ることができたので良かった。地震（南海トラフ）の影響と発生リスクが高くなっているので、発生時の対策が重要である。島根県としては鹿島は県中心部に近すぎた感があります
- ・ 放射線は光と同じという例えが放射線は人から人へうつらないという説明はとても分かり易かった。線と能の違いをよく理解して話を聞くことができた
- ・ 非常に有意義な講演会でした
- ・ 現在多くの原子力発電所が稼働を停止しているが、その代替として多くの高経年火力発電所がフル稼働し、夏季ピーク時にも何とか予備率を確保している状況だが、高経年であるが故、万が一発電所のトラブルで供給力が無くなってしまうと最悪日本中が大停電になるリスクを抱えている。原子力発電所の代替電源として太陽光、風力、バイオマスなどの発電に関しては、電力固定価格買取制度によって普及が進んでいるが、これも国民の税金を使用して賄われており、国民の負担となっている。一部の金の亡者が金儲けのためにやっているだけで、使命感など何もない。このような不安定な電源では、安定供給はできない。したがって、いち早く原子力発電所の再稼働を希望する。原子力発電所の安全対策については、電力会社のホームページで確認しており、十分な安全性を確認できている、日本の利益、国民の利益のためにも、島根原子力発電所の再稼働を強く希望する

## 【松江会場】

- ・とても分かり易かったです。ありがとうございました
- ・時間の都合もあると思うけど、もう少しゆっくりが良いです
- ・甲状腺ガンの山梨・青森等の調査の内容について、教えていただければと思います

→飯塚先生に教えて頂きましたので、URL を掲載します。(環境省 HP)

<https://www.env.go.jp/press/y050-36/mat06.pdf>

「福島県県民健康調査「甲状腺検査」の現状について」

<http://www.env.go.jp/press/16520.html>

「福島県外 3 県における甲状腺有所見率調査結果について (お知らせ)」

- ・非常に良かった。島根県に感謝します
- ・網羅しすぎて内容多い。フロアの対象者で異なるが、講演は学習会なのか。災害対策説明は分けるべきだと思う。また、広報の用語は難しすぎる。OIL 等の用語は住民には難しい。このような発信の場は大切に、直接お話を聞けて良かった。今後も続けてほしい。フロアで聞いた人が広く伝えることが求められる
- ・漠然と危険だというイメージを持っていたが、安心感が非常に増えました。分かり易い説明であったので、理解し易かったです。どれ程の放射線を受けたら身体に影響があるのかということと、どのようなケースで影響があるほどの放射線が放出されるのかという点が知りたかったため、それを家族にも話し、今後のために活かしたいです
- ・ご自身とご家族の例があって大変分かり易かった
- ・今までより、一層の詳しく、特に基礎的な内容を教わりました。参考になりました
- ・プログラムの順番は考慮の余地があるのではないのでしょうか
- ・1 人目の質問者は、名前などを述べてから質問すべき。司会者がきちんとコントロールすべき。まあ、●●でしょうけど。もっと若い人からの質問が欲しい
- ・大変分かり易く丁寧な講演会でした。ありがとうございました
- ・有事の際の防災対策だけではなく有事がない(起こらないよう)ようにとっている対策を同時に説明しておく必要があると思います。(有事があるという印象が強く残り、不安があるため)
- ・放射線について基礎的な理解ができました
- ・最初の質問者の方は持論を述べているに過ぎず余計であった。目的と異なる主旨の発言で周りの人はひいていたのでは……。一問一答形式とすべき!
- ・参考になった
- ・1 人目の方の感想・意見は聞きたくない。質問だけを受けるように進行できるとなお良い
- ・被災地福島県民への思い遣りが大切です
- ・講演を聞いて良かったです

- ・専門用語が多く理解が難しい所が大いにある。専門用語の説明も含めてもらったら良く解ると思う
- ・講師には、違ったテーマでの講演をお聞きしたい。語り口が非常に親しみ易かった
- ・これをどうやって一般県民に知ってもらうか。分かり易いビデオ等を活用した講習会が各地で必要だと思う。30分ぐらいがいいのでは
- ・心配しても仕方がない事も多いと感じました。島根県の対策を聞いて少し安心しました
- ・専門的な用語が多く分かりにくい。資料について行くのが一杯でした
- ・講師の先生のお話はとても分かり易くて良かった。ぜひ島根・松江においても子供たちや小さい子どもをお持ちの若いお父さん、お母さん方にも聴いて頂きたい内容でした。県の防災対策についても、現在北朝鮮の動きに目が離せない状況か、多くの住民が不安を抱いていると思われまますので、ぜひ原子力防災についてのこうした説明会を定期的になるべく多くの方を対象に開催して頂きたいと思います
- ・今迄になく分かり易い説明で頭に入りやすかったです
- ・分かり易く説明して頂いて大変良かったと思います
- ・原子力発電所を設置された背景なども含めて話があっても良いのでは。いろいろな交付金も貰っていると思うが、営業運転もしていない場合でも、税等をとるとするのは、どういう考えなのでしょう？
- ・人体への影響等 例などを踏まえて分かり易かった
- ・丁寧な説明でユーモアの交えた講演で聞き易かったです
- ・とても分かり易くお話をしていただきました。一般の方を対象とした放射線についての講演としては良い内容でした。「原子力災害が起こったらどうする」という観点では、一般の方には分かりにくかったのではないかと思います。時間の制約上、仕方なかったとは思いますが…
- ・大変分かりやすい講演内容で良かったです
- ・原発事故が起こった時のことを考えると、大変になるということ。大変怖い。不安な気持ちを更に大きく持ちました。スムーズに避難ができるとは、とても考え難く、福島のような事故が起こらないことを祈るばかり
- ・漠然としていた放射線のイメージが先生のお話を聞いて少し分かりかけた気がします。今後自分で勉強したいと考えていますが、何から取り掛かるかヒントを得ました。大変良い講演会でした。先生の人柄にも好感を覚えました
- ・分かり易い内容であったと感じた
- ・ありがとうございました
- ・とても分かり易く説明をいただいたので、理解はし易かった
- ・放射線を正しく知り、被ばくを避ける様にしたいです。安全対策を第一に原発を運転してもらいたいです

- ・いろいろなメディアに於いて、放射線の人体への影響は少ないとは言われているが、実際に災害にあった方達は何年たっても苦しんでおられる。先生のお話良かったと思うが、早くて分かりづらいこともあった。この様な機会を設けていただいたならば、時間に余裕をもってほしかった
- ・たくさんの方が来られていた。つまり、皆さん非常に意識が高いと思います。いろいろな先生方の話を聞けるチャンスを何度も作られたら良いと思います
- ・とても簡潔に話されてよく判りました
- ・このような講演を繰り返し実施し、その内容を周知していく必要性を感じる。ありがとうございました
- ・時間がタイトで、早口であったり、休憩がないなどの講演会で若干疲れた。マスコミの方が近くでノートパソコンをパチパチたたいていて気になって集中できなかった
- ・大変勉強になりました
- ・とても分かり易い講演でした
- ・良かった。去年より内容が増えていたが、分かり易かった
- ・有難う御座居ました。家庭で孫達と防災の話をします
- ・1人の質問者が多数かつ長時間、マイクを占有したが、このような人に対し、指導してもらいたい。持論に固執し、人の話しを聞かないタイプ。誰か特定すべき
- ・今回のような講演会なり、地域（町内会）内の小単位の講演会の実施希望。もっと私自身が本件に興味を持つべきことが大切だが、県としては県民が関心を持つような施策が必要。テロ対策の策定（至急）。原発有無の将来計画は？
- ・不幸にして原子力災害が生じた場合、正しい情報を得る（伝える）ことが大切ですが、福島事故の際、例えば SPEEDI のデータが公開されなかったことから、危険な場所に避難してしまったという実態がありました。その背景として“そのまま伝えたら大変なことになる”と考えたという点があります。また“不確定なことは発表できない”といった心理も働いたことと思います。これを踏まえて、正しい情報を得る（伝える）ことの是非について、実際のところはどのようなのでしょうか。風向、風速、その他の気象条件等も踏まえた迅速かつ適確な判断と、それに基づいた周知、実際の支援行動等は本当に可能？
- ・今回このような会が何回もされたのか分からないのですが、たくさんの方の参加の方があってびっくりしました。皆さん分からないことは多いと思いますが、知らないより良いと思います。私も原子力発電所が勤務先にあるので、もし子ども達に何かあったらの安全を確かめてみたくて参加させていただきました。とても分かり易くお話をさせていただきました。でも自分の中でいざ質問となると何を言っているのか分からないのはまだまだ勉強不足ですね